

被爆 80 年をどう迎えるかー

被爆二世プラスの会会員のつどい

12/1(日) 北農健保会館(札幌市北 4 条西 7 丁目) 午前 10 時～

被爆 80 年を前に、「再び被爆者を作らないで」と訴え「核のタブー」をゆるぎない国際規範にしてきた被爆者のこれまでの努力に対して、ノーベル平和賞の授賞が決まりました。

しかし北海道の被爆者の平均年齢は 86.48 歳になりました。高齢化のため、北海道被爆者協会は来年の春に組織としては幕を閉じることになりました。そこで、新たに被爆者、二世、支援者が一緒になって北海道被爆者連絡センターを立ち上げる予定です。

来年は被爆 80 年、戦争や被爆から遠く離れた若い世代に、継承のさまざまな新しい動きが生まれつつあります。被爆者協会無き後、そして核兵器をめぐるかつてない緊張の中、私たち被爆二世プラスの会に何ができるのか、みなさんと一緒に考え合いたいと思います。

- 10:00 開会
会長挨拶
活動報告
会計報告
次年度以降の活動について
- 11:00 朗読劇 「あの日 あの時
ヒロシマで」
札幌南高(定)生徒有志
参加者全員で意見交換



年 1 回の会員のつどいですが、会員以外の方でも参加できます。被爆者が背負ってきた課題は被爆者だけのものではありません。二世独自の課題とともに、被爆者の願いを二世や「非被爆者」が一緒になって受け継いでいこうという集まりです。一緒に語り合いませんか。

主 催:被爆二世プラスの会北海道

連絡先:川去裕子(会長) 090-3119-8012 北海道被爆者協会 011-866-9545